

長等の防災

2024年2月22日発行

第10号

ながらまち協自主防災会
発行責任者 山本一男



ながらまち協自主防災会

会長 山本一男

長等学区の皆様方には、平素から自主防災会の事業に御理解ご協力ご支援を頂き、誠にありがとうございます。おかげさまで令和5年度の事業も無事終了することが出来、御礼申し上げます。

令和6年の年開けそうそう、能登半島を震源とする大きな地震が発生し、大津波、土砂災害、火災、家屋倒壊などにより、多くの方が被災されました。亡くなられた方々にお悔やみ申しあげますとともに、被災されました皆様にお見舞い申しあげます。一日も早い復興をお祈りいたします。

長等学区も大きく長いゆれを感じた訳ですが、皆様もあらためて地震の恐ろしさを再認識された事と思います。大津市でも琵琶湖西岸断層帯、花折断層等、また南海トラフ地震の影響などが懸念されるところであります。

いつ起こるかわからない地震に対して、日頃から災害時への準備が必要になります。備えを充分して頂く事が自助共助に繋がると思えます。私達自主防災会も災害への準備の見直し、各自治会との連携の再確認をし、少しでも減災出来るよう努めたいと思えます。

令和6年が皆様にとって安心安全な一年でありますようお願い申し上げ、まちづくり協議会・各種団体・学校関係の方々の協力を頂きながら、長等学区の安心安全なまちづくりのため努力してまいりますので、学区の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和6年大津市消防出初式開催

年始め恒例の出初式が、1月7日(日)に約800名が参加し、大津市民会館及びなぎさ公園で開催されました。



第一部の式典では、各種表彰・感謝状の授与が行われ、長等学区では長年の功労に対して、次の方が受賞されました。

◇消防功労者等表彰

○大津市消防局長表彰

長谷 清さん

(地域自主防災活動に尽力・小関町)

◇優良消防団員表彰

○県消防協会長表彰

秋本 旭さん

(精励表彰銀賞・ブランズ西大津)

井元 潔さん(精励表彰銀賞・山上町)

大西 一真さん

(5年以上勤続退団者感謝状・山上町)

第二部の訓練は、能登半島地震の救援の関係から内容を変更して行進、一斉放水などが行われ、長等分団団員、長等学区自主防災会役員が参加しました。

事務局から

昨年11月21日に行われた長等小学校6年生の防災授業に学区自主防災会と長等分団が協力しました。生徒たちは避難所運営をテーマに、簡易テントや段ボールベッドなどの設営、避難者名簿の記入に熱心に取り組みました。

昨年 11 月 12 日実施の長等学区自主防災訓練のなかでお伝えした、「災害情報収集」について、あらためて紙上でお知らせします。災害時の情報収集にお役立てください。

「IT×防災」もしものときに ～災害情報収集～

大津市防災士
竹内 義博

災害が予想されるとき、災害が起きたときには最新の信頼出来る情報を収集することが大切です。今から 65 年前の 1959 年 9 月 26 日に襲われた伊勢湾台風では、情報が乏しかったために被害がより拡大しました。当時の情報源はラジオでしたが、ポータブルラジオは一般に普及しておらず、家庭での据え置き式で電源を必要としていたため停電で使えず、情報の収集が困難だったそうです。



現代は情報化時代、ネット上からスマートフォンなどの情報機器を通じて容易に情報収集は可能です。しかし、中には信頼出来ない情報や、直接必要のない情報も多く、自ら取捨選択する必要があります。また、電波状況や電池切れなどで、スマートフォンなどの機器が使用出来ない事もあり、過信は禁物ですが、有効なツールであることは間違いありません。

今回は、災害の発生に備え準備するもの、災害発生時の情報収集や、安否確認に役立つスマートフォンアプリをご紹介します。

大津市の防災情報が提供されるサイト



大津市防災ポータル

<https://www.city.otsu.lg.jp/bousai/>



ハザードマップや避難所、避難行動など、「知る（知識を得る）」・「考える（イメージする）」・「対策する」ための 9 つのメニューを配置し、防災に関する出前講座の内容も掲載。

避難情報、安否確認などの機能を持つ総合的なアプリ



大津市 LINE 公式アカウント



大津市 LINE 公式アカウントは、AI（人工知能）を活用した総合案内チャットボットによる対話型の案内サービスの利用や、災害情報をはじめとした大津市に関する様々な情報を発信するアカウント。








Yahoo 防災速報

<https://emg.yahoo.co.jp/>



緊急地震速報や津波、避難情報、大雨による災害などさまざまな防災情報をプッシュ通知で受け取れるほか、災害マップや防災手帳など、災害に備えるコンテンツを確認できるスマートフォンアプリ。

	<h2>大津市防災ナビ</h2> <p>https://www.city.otsu.lg.jp/bousai/39533.html</p>	
		
<p>iPhone 用 QR コード</p> <p>Android 用 QR コード</p> <p>現在地周辺の指定避難所、指定緊急避難場所、AED 設置箇所を自動表示、現在地から上記場所までの誘導、安否登録と安否確認などの機能を持つ大津市の公式アプリ。</p>		

	<h2>NHK ニュース・防災</h2> <p>https://www3.nhk.or.jp/news/news_bousai_app/index.html</p>	
		
<p>iPhone 用 QR コード</p> <p>Android 用 QR コード</p> <p>NHK が提供する、地震・津波・台風等の災害情報、および特別警報や警報、土砂災害警戒情報等の防災気象情報がリアルタイムで、防災行政無線と同様の緊急速報を受信でき、避難所情報や避難ルート、物資支援情報などが確認できるアプリ。</p>		

日々の情報収集に役立つアプリ

	<h2>radiko</h2> <p>https://radiko.jp/</p>	
		
<p>iPhone 用 QR コード</p> <p>Android 用 QR コード</p> <p>ラジコは、スマートフォンやパソコンでラジオが聴けるサービス（アプリ）です。今いるエリアのラジオ放送局なら無料で、ラジコプレミアムなら全国のラジオ放送局が聴き放題。過去 1 週間以内に放送された番組を後から聴けるタイムフリー聴取機能があります。</p>		

インターネットは便利で有効なツールですが、過信は禁物です。連絡先など重要な項目は紙にメモして持ち歩く、日頃から家族と災害時の行動について話し合っておくなど、従来の方法を併用することが大切です。また、これらのアプリも、いざと言うときに直ぐに使える様に日頃から使い方の練習をしておく事も大切です。

地域防災力連携強化会議開催

学区内の関係機関・団体の皆様に、防災についてご意見をお聞きするため、昨年9月19日に「長等学区地域防災力連携強化会議」を開催しました。中消防署と20名の委員が出席し、自主防災活動について意見を交換し、それぞれの立場から貴重なご意見をいただきました。自主防災会では、こうしたご意見を今後の活動に反映させていきます。



学区自主防災訓練を実施

昨年11月12日長等小体育館で、127名の参加のもと、自主防災訓練を実施。子供たちもまじえ、皆さん熱心に取り組まれていました。



◎搬送・応急手当

簡易担架の作成や AED の使い方と心臓マッサージについての訓練です。今回は簡易な訓練器具を使い、全員が心臓マッサージの実施訓練を行ない、AED の使用についても訓練しました。AED は機械からの音声ガイドに従えば誰でも簡単に使えますが、突然のことに対応できるよう訓練で経験しておくことが非常に大切です。



◎大津版ファーストコンタクト

倒壊した家屋などから人を救助する場合、まず大切なことは、救助者の安全を確保することです。周囲の確認や、見張り役も含めて役割分担をし、十分安全を確保した上で救助します。そういったことの確認と、バールやジャッキを使った一連の流れを、模擬的な状況のもとで訓練しました。



◎災害情報の収集

主にスマートフォンを使った災害情報収集について解説しました。災害発生時の情報収集は非常に重要で、その際のスマートフォンはたいへん有用です。様々なサイトを紹介し、あわせてそういったネット情報を使用する注意点も説明しています。内容は本紙に掲載しています。



◎水防訓練

水害発生時の土のうの作り方、積み方を訓練しました。土のう袋に敵量の砂をいれ、正しい縛り方で縛ります。また、土のうは正しく積まないと水の侵入を防げません。一般の家庭では砂の準備は困難な場合も多いので、水を使った代替法も紹介されました。